

第62回研究大会プログラム

会 場 首都大学東京 南大沢キャンパス

日 時 2015年9月18日(金)～20日(日)

9月	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
18日 金	受付				プロジェクト研究 「子ども・若者支援専門職の 必要性和資質に関する研究」 (13:00～16:00)		会場校企画 「社会教育における 防災教育の展開」 (16:15～18:15)		全国理事会 (18:30～)		
									若手研究者のつどい (18:30～)		
19日 土	受付	自由研究発表 (9:30～12:00)		昼食	自由研究発表 (13:00～15:30)		特別企画 倫理問題に 関する研修会 (15:45～17:00)	総 会 (17:15～18:30)		懇親会 (18:45～20:45)	
20日 日	受付	プロジェクト研究		昼食	ラウンドテーブル (13:30～16:00)						
		①「学びあうコミュニティを支えるコー ディネーターの力量形成とその組織」 ②「社会教育研究における方法論の検討」									

(1) 受付案内 ①会場案内は表紙裏、教室案内はP.1をご参照下さい。 *敷地内禁煙

②受付設置場所・時間はつぎのとおりです。

1日目：12:30～ 南大沢キャンパス 6号館玄関ホール

2日目：9:00～ 同上

3日目：9:00～ 同上

(2) 参加費等 ①参加費 2,500円(当日3,000円)、学部生：1,000円(当日1,000円)

大学院生：会員1,500円(当日2,000円、身分証提示)、非会員2,500円

②懇親会費 4,500円(当日5,000円)、学部生・院生2,500円(当日3,000円)

*今年度より参加費・懇親会費の支払いは、同封の振込票による事前振込が原則となりました。

③昼 食 会場で販売します。(予定価格850円)

(3) 会場案内 ①大会本部 6号館106教室

②参加者控室 6号館101教室

③理事会 本部棟大会議室

④若手研究者のつどい 5号館142教室

⑤総会 6号館110教室

⑥懇親会 生協レストラン

(4) 自由研究発表者は、当日配布資料がある場合、十分な部数(約50部)をご用意下さい。

会場でのコピーは出来ません。

(5) 大会についてのお問い合わせやご連絡は下記にお願いします。各種委員会・打ち合わせ会場確保可。

日本社会教育学会 2015年度研究大会首都大学東京事務局

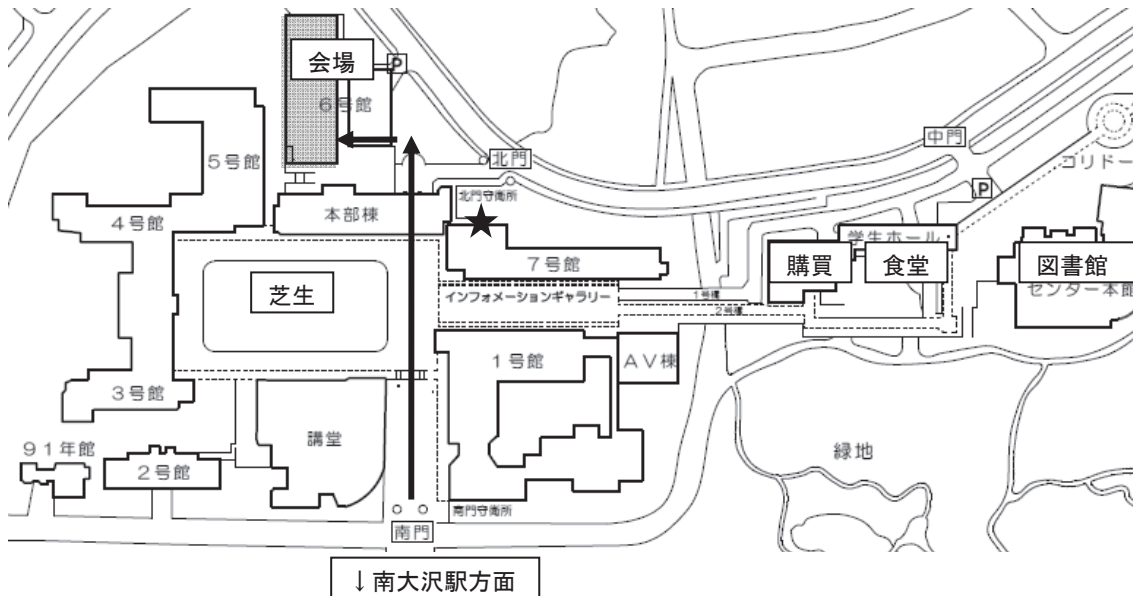
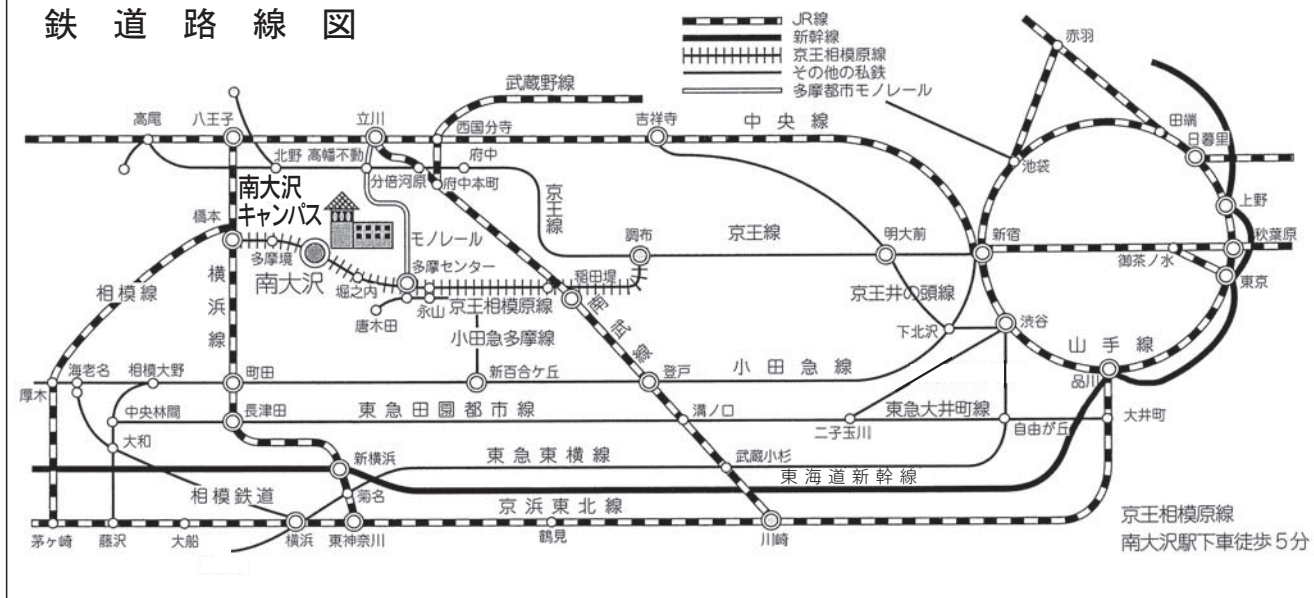
〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1 首都大学東京・教育学研究室

e-mail :nomoto@tmu.ac.jp 042-677-2082 または090-2348-1154

会場へのアクセス

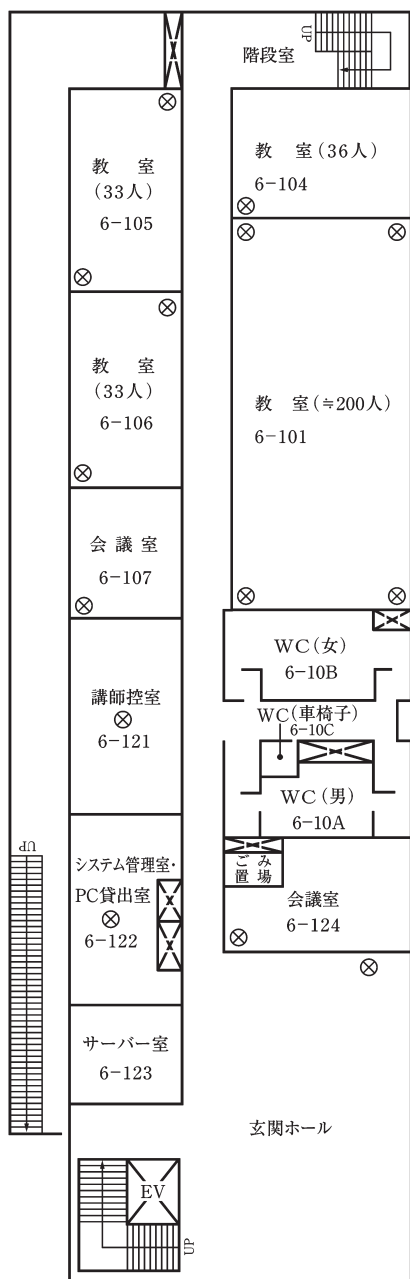
京王線相模原線「南大沢」駅改札口から徒歩5分
改札口を出て右手に、緑に囲まれたキャンパスが見えます。
新宿から特急「橋本」行で33分、「調布」乗換えで38分。

鐵 道 路 線 図

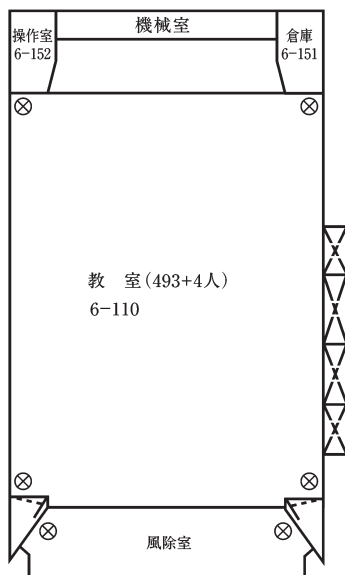


配置図 1

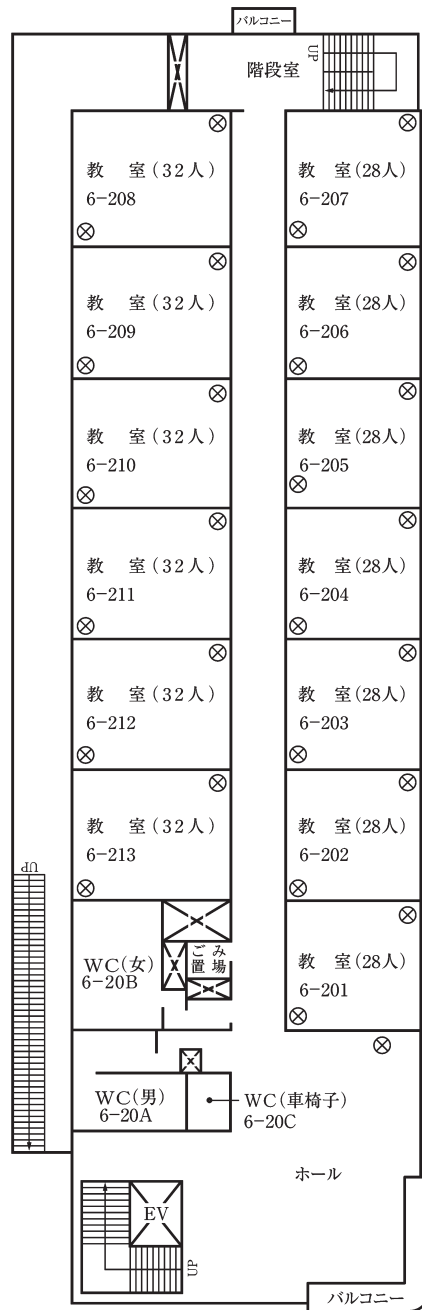
6 号館



1 階

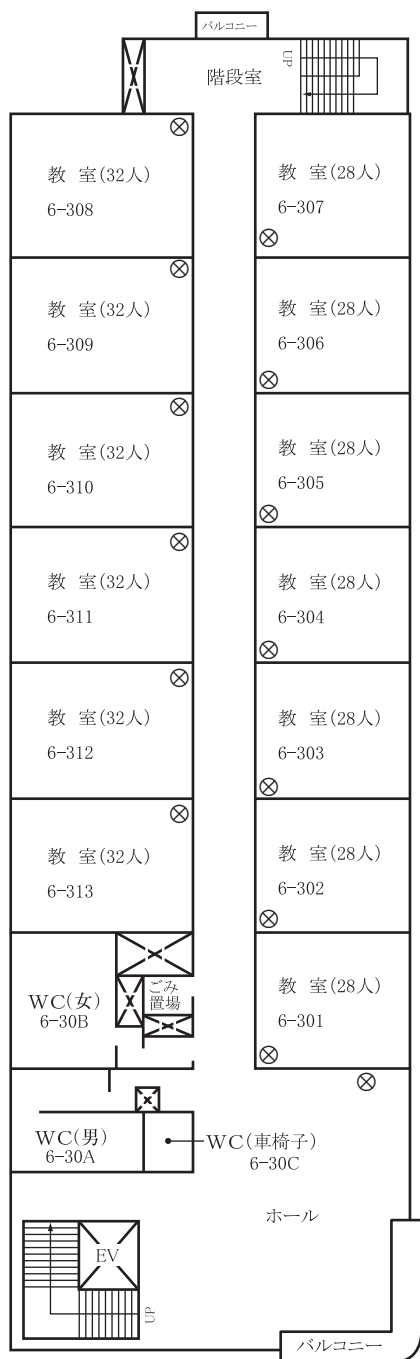


2 階



配置図 2

6号館



プロジェクト研究

「子ども・若者支援専門職の必要性和資質に関する研究」

13:00～16:00 6号館1階入口横110教室

テーマ 「子ども・若者支援に関する専門職をめぐる問題状況と課題（４）
—資格像とカリキュラム（試論）の検討—」

司 会 生 田 周 二（奈良教育大学）

報 告 ①「子ども・若者支援専門職の基本理念」

大 山 宏（東京大学大学院）、川野（立石）麻衣子（奈良教育大学）、
南 出 吉 祥（岐阜大学）

②「子ども・若者支援にかかわる専門職・資格の現状と課題」

- ・制度と位置づけについて 大 串 隆 吉（首都大学東京名誉教授）
- ・専門性と専門的力量について 竹 田 明 子（京都市ユースサービス協会）

③「子ども・若者支援専門職の専門性と研修カリキュラム試論」

水 野 篤 夫（京都市ユースサービス協会）

コメンテーター 佐 藤 洋 作（文化学習協同ネットワーク）

会場校企画

「社会教育における防災教育の展開」

16:15～18:15 6号館1階入口横110教室

司 会 内 田 純 一（高知大学）

報 告 「アジア・南太平洋地域における防災教育の展開」

ティモテ・M・ヴァイオレティ（Timote M. Vaiioleti）
（ASPBAE理事、ワイカト大学（ニュージーランド））

「社会教育における防災教育の意義と展望」

野 元 弘 幸（首都大学東京）

全国理事会

18：30～ 本部棟大会議室

若手研究者のつどい

18：30～ 5号館1階142教室

第2日目 9月19日(土)

自由研究発表 (共同研究は○印が登壇者)

9:30～15:30

第1室 午前

原理論・歴史

6号館2階213教室

司会 鈴木 敏 正 (札幌国際大学)

9:30～9:55 「痛み」概念に基づく変容的学習論の再検討—実践と思想の関連に着目して—

正 木 遥 香 (広島大学大学院)

9:55～10:20 韓国における「地域共同体運動」の変遷過程に関する一考察

—教育と運動との関係性に着目して—

金 宝 藍 (東京大学大学院)

10:20～10:45 文化伝承における対話空間の創造とインフォーマル教育者をめぐって

岡 幸 江 (九州大学)

10:45～11:10 上原専祿「主体性形成と学習」論研究 (その10)

—「主体性」発動の基盤と契機—

片 岡 弘 勝 (奈良教育大学)

11:10～11:35 創造的学習の成立条件—「非決定空間」に着目して

宮 崎 隆 志 (北海道大学)

(討議 11:35～12:00)

第1室 午後

原理論・歴史

6号館2階213教室

司会 片 岡 了 (早稲田大学非常勤)

13:00～13:25 書く実践の意義に関する一研究

—「ふだん記」を対象として—

川 原 健太郎 (早稲田大学)

13:25～13:50 戦後筑豊社会における産業構造の変化にともなう住民生活と社会教育への影響

—1960年代の産炭地社会教育調査の分析を中心に—

農 中 至 (鹿児島大学)

13:50～14:15 戦後復興期の青年期教育に関する研究

—越後妻有郷における婦人学級の事例を中心として—

佐 野 浩 (新潟経営大学)

14:15～14:40 博文館刊『生活』誌と「中流の生活」への視線

—大正期における生活をめぐる啓蒙と商業雑誌—

久 井 英 輔 (広島大学)

(討議 14:40～15:30)

司 会 手 打 明 敏 (筑波大学)

9:30～9:55 戦時期文化政策論の特質に関する研究

—太平洋戦争開戦後の教育と文化の関係についての議論に着目して—

大 蔵 真由美 (名古屋大学大学院)

9:55～10:20 昭和初期の旭川における博物館施設の状況

—アイヌ民族関係資料の収集と展示をめぐる—

城 石 梨 奈 (北海道大学)

10:20～10:45 少年教護法制下における少年教護委員の歴史的意義と限界

—大阪市を中心に—

山 崎 由可里 (和歌山大学)

14:45～11:10 総力戦体制下の保育雑誌に見る「母親教育」思想

—『幼児の教育』誌の月刊「幼児の母」欄を中心に

浅 野 俊 和 (中部学院大学)

(討議 11:10～12:00)

司 会 辻 浩 (日本社会事業大学)

13:00～13:25 恵那地方における自主学習集団「豆学校」形成をめぐる運動的力動

—1950年後半～1960年代の教育・合併・生活変化・開拓を孕む神阪地区での発祥より—

篠 原 真紀子 (立命館大学大学院)

13:25～14:15 社会教育行政の歴史的研究(その1)

—東京都における戦後社会教育行政の成立を中心に—

○新 井 浩 子 (早稲田大学非常勤)

小野寺 みさき (早稲田大学大学院)

○梶 野 光 信 (東京都教育委員会)

○矢 口 徹 也 (早稲田大学)

若 園 雄志郎 (宇都宮大学)

渡 辺 美 穂 (国立女性教育会館)

14:15～14:40 「ユースワーク・青少年教育史」の課題

田 中 治 彦 (上智大学)

(討議 14:40～15:30)

司 会 姉 崎 洋 一（北海道大学）

9：30～9：55 近代日本における聾啞者の自己教育運動

—日本聾啞協会の『聾啞界』を手がかりに—

池 田 法 子（京都大学大学院）

9：55～10：20 教育令期における教育政策の変容と学校外教育

—実業教育・職業教育との関連に注目して—

倉 知 典 弘（吉備国際大学）

10：20～10：45 戦後移動図書館の理念に関する分析

—徳島県立図書館における「文化バス」を事例として—

石 川 敬 史（十文字学園女子大学）

10：45～11：10 菊池俊諦少年教護論の検討

石 原 剛 志（静岡大学）

（討議 11：10～12：00）

司 会 石 沢 真 貴（秋田大学）

13：00～13：25 地域産業担い手育成実践における若者の社会的アイデンティティ形成

—福島県昭和村のからむし織体験生「織姫・彦星」事業を事例に—

内 田 弘（北海道大学大学院）

13：25～14：05 国際結婚移住女性の生活・学習環境づくりに向けたアクション・リサーチ

—リテラシーを保障／補償するコミュニティをめざして—

○新 矢 麻紀子（大阪産業大学）

○棚 田 洋 平（部落解放・人権研究所）

14：05～14：30 結婚移民女性の経済的自立に向けての戦略とその意義

—韓国の起業女性を事例として—

朴 賢 淑（東北大学）

14：30～14：55 同和対策事業の終結後の若者たち

—部落出身者としてのアイデンティティと政策・地域・運動・学校—

阿久澤 麻理子（大阪市立大学）

（討議 14：55～15：30）

司 会 小 林 繁（明治大学）

9：30～9：55 「舞台に立つこと」を通じた高齢者の学習

—柏市豊四季台団地「くるる即興劇団」の取り組みを通して—

園 部 友里恵（東京大学大学院）

9：55～10：20 6次産業化に取り組む農業者の実践と学び—福島県を事例として

高 橋 英 子（東北大学大学院）

10：20～10：45 「専門職」の職場と女性の選択—図書館を事例に—

廣 森 直 子（青森県立保健大学）

10：45～11：10 高齢者教育学の存立基盤に関する一考察

堀 薫 夫（大阪教育大学）

（討議 11：10～12：00）

司 会 千 葉 悦 子（福島大学）

13：00～13：25 育児期女性の社会参加とその支援方法に関する研究

中 村 由 香（東京大学大学院）

13：25～13：50 女性の社会参加と子育てをめぐる学習理論の再検討

丸 山 美貴子（北海道大学大学院）

13：50～14：30 地域子育て協同と中間支援組織の役割

—「父親ネットワーク北海道」を事例に—

○吉 岡 亜希子（北海学園大学非常勤）

○若 原 幸 範（稚内北星学園大学）

14：30～14：55 ブラジルの沖縄移民社会における文化伝承の諸相

山 城 千 秋（熊本大学）

（討議 14：55～15：30）

司 会 長 澤 成 次（千葉大学）

9：30～9：55 多文化フリースクールから見える外国籍の子どもの学びの実態

仲 江 千 鶴（昭和女子大学大学院）

9：55～10：20 女性の学習と地域づくり

飯 島 絵 理（東北大学大学院）

10:20～10:45 高麗人マウルにおける地域社会との関わり

—多文化教育の視点から—

呉 世 蓮（早稲田大学非常勤）

10:45～11:10 青少年の徳性涵養と社会教育の役割

上 條 秀 元（元 宮崎大学）

11:10～11:35 韓国・移住女性人権センターにおける韓国語教材『人権を主題に学ぶ韓国語』
の課題と可能性

藤 田 美 佳（奈良教育大学）

（討議 11:35～12:00）

第5室 午後

学習文化活動

6号館2階209教室

司 会 内 田 純 一（高知大学）

13:00～13:25 成人の実務学習と社会関係資本形成への効果

杉 本 智（亀岡市中央公民館）

13:25～13:50 「支えあいの子育て」における家族内協同の変化

—A県B市の実践Dに即して—

榊 ひとみ（北海道大学専門研究員）

13:50～14:15 社会人教育におけるポートフォリオ学習の活用事例

—金沢工業大学大学院を中心として—

泉 屋 利 吉（金沢工業大学）

14:15～14:40 草創期における掛川市生涯学習の構図

—掛川市生涯学習の展開と地域社会の形成（2）—

志 田 倫 子（静岡英和学院大学）

（討議 14:40～15:30）

第6室 午前

学習文化活動

6号館2階208教室

司 会 大 島 英 樹（立正大学）

9:30～9:55 地域づくり実践における地域史学習の役割

—新潟県十日町市の中山間地域の事例から—

吉 田 弥 生（北海道大学大学院）

9:55～10:20 「記憶」や「記録」をめぐる方法論の検討

—「ローカルな知」に着目して

伊 藤 雅 一（千葉大学大学院）

- 10:20～10:45 二人一組制労働による看護師の学習と斜め分業への効果と課題
 コリー 紀 代（北海道大学大学院）
- 10:45～11:10 クリティカル・シンキング定着のためのアクティブ・ラーニング
 : 地域—大学連携プロジェクトを通して
 亀 井 あかね（東北工業大学）
- 11:10～11:35 震災復興・コミュニティ再生に果たす支援者の役割と学習構造
 —「被災者が主体となる復興」の実現プロセスをもとに—
 櫻 井 常 矢（高崎経済大学）
- （討議 11:35～12:00）

第6室 午後

職員

6号館2階208教室

- 司 会 野 依 智 子（福岡女子大学）
- 13:00～13:25 地元学における学習者と学習支援者の関係をめぐって
 森 千鶴子（九州大学大学院）
- 13:25～13:50 社会教育職員である学芸員の社会教育労働に関する一考察
 —北村敏の実践と地域志向型博物館論の関連から
 栗 山 究（法政大学非常勤）
- 13:50～14:15 「9単位社会教育主事」養成に果たす社会教育主事講習の役割について
 浅 野 秀 重（金沢大学）
- 14:15～14:55 女性専門職におけるキャリアとロールモデル
 —医師を手がかりに—
 ○渡 邊 洋 子（京都大学）
 ○佐 伯 知 子（大阪総合保育大学）
 柴 原 真知子（京都大学医学教育推進センター）
 池 田 法 子（京都大学大学院）
- （討議 14:55～15:30）

第7室 午前

学習機会

6号館3階313教室

- 司 会 新 藤 浩 伸（東京大学）
- 9:30～9:55 台湾における社区大学の実態と課題：台北市南港社区大学の現状から
 山 口 香 苗（東京大学大学院）

9:55～10:20 生涯学習関連施設における学習困難者への支援のあり方をめぐる課題
—MCIの兆候を示す対象者を事例として—

鈴木 尚 子 (徳島大学)

10:20～10:45 ハンセン病患者・回復者による「学び」と博物館展示

君 塚 仁 彦 (東京学芸大学)

10:45～11:10 図書館カードを用いたミュージアム無料入館制度の動向

瀧 端 真理子 (追手門学院大学)

11:10～11:35 住民の学習機会を育む大学開放プログラム

藤 田 昇 治 (弘前大学)

○藤 田 公仁子 (富山大学)

(討議 11:35～12:00)

第7室 午後

学習機会

6号館3階313教室

司 会 藤 村 好 美 (群馬県立女子大学)

13:00～13:25 ヴィクトリア期ロンドンにおける女性活動グループ形成と B.L.S. ボディション
の役割

柴 原 真知子 (京都大学)

13:25～13:50 イスラエルによるパレスチナの占領に反対するユダヤ人の語り

齋 藤 真 哉 (板橋区教育委員会)

13:50～14:15 90年代後半以降の英国ユースサービスの評価を巡る政策動向と論点の整理

川野(立石) 麻衣子 (奈良教育大学)

14:15～14:40 アメリカにおける大学教育の開放

—UCEAからUPCEAへ

五 島 敦 子 (南山大学短期大学部)

(討議 14:40～15:30)

第8室 午前

学習機会

6号館4階402教室

司 会 津 田 英 二 (神戸大学)

9:30～9:55 過疎化する地域の福祉拠点づくりと住民の学び

—社会福祉協議会と住民へのインタビュー調査を通じて—

大 村 隆 史 (名古屋大学大学院)

9:55～10:20 環境保全団体による在来知の掘り起こし・応用・継承過程

—狭山丘陵における里山景観再生事業を事例として—

叶 田 真規子 (首都大学東京非常勤)

- 10:20～10:45 売買春被害の女性たちの人間性の回復における「学習」の役割
 —韓国の市民団体「Wing」の経験を通じて
 桔 川 純 子（東北大学大学院）
- 10:45～11:10 教育か広報か - NGOが教育活動に取り組む決定要因
 三 宅 隆 史（(社）シャンティ国際ボランティア会）
- （討議 11:10～12:00）

第8室 午後 政策・運動

6号館4階402教室

司 会 松 田 武 雄（名古屋大学）

- 13:00～13:25 社会教育とユースワークの統合に関する研究
 —板橋区における青少年センター開設検討会の取り組みから—
 吉 野 友 二（板橋区立大原社会教育会館）
- 13:25～13:50 自治体社会教育の政策決定システムと専門的教育職員の関与
 川 野 佐一郎（早稲田大学非常勤）
- 13:50～14:40 九州における地域変動と社会教育（その1）
 ○上 野 景 三（佐賀大学）
 岡 幸 江（九州大学）
 ○恒 吉 紀 寿（北九州市立大学）
 植 上 一 希（福岡大学）
 ○長 尾 秀 吉（別府大学）
 山 城 千 秋（熊本大学）
- 14:40～15:05 北九州市における夜間中学増設運動の展開
 添 田 祥 史（福岡大学）
- （討議 15:05～15:30）

第9室 午前 地域・地域問題

6号館3階312教室

司 会 大 坪 正 一（弘前大学）

- 9:30～9:55 市民が運営する「こども図書館」の現状と課題
 —ニュータウンにおける事例の検討を中心に—
 吉 良 仁 美（龍谷大学大学院）
- 9:55～10:20 生きることが楽しくなる学びに関する研究
 尾 武 久 子（清水江尻小学校）
- 10:20～10:45 韓国農村における地域と共生・協働する学校づくりへの取り組み
 —学校存続の危機を克服した小規模校に着目して—
 肥 後 耕 生（元 韓国・公州大学校）
- 10:45～11:10 被災地での地域協働による子育て支援施策構築の意味とコミュニティの再構築
 櫻 幸 恵（岩手県立大学）

11:10～11:35 企業の地域貢献と学習する組織

—京セラ国分工場の事例—

神 田 嘉 延（鹿児島大学）

（討議 11:35～12:00）

第9室 午後

地域・地域問題

6号館3階312教室

司 会 末 本 誠（神戸大学名誉教授）

13:00～13:25 中国内モンゴル自治区におけるアンダイ文化の普及に関する一考察

紅 桂 蘭（筑波大学大学院）

13:25～13:50 社会教育において人種・人種主義を問うことの現代的意義と課題

酒 井 佑 輔（鹿児島大学）

13:50～14:15 自然災害に対するコミュニティの脆弱性に関する考察

—東日本大震災後の復興過程における農山漁村集落を事例に—

秦 範 子（東京農工大学大学院）

14:15～14:40 生活の中の「防災」を考える：ネパール大地震の復興に向けて

長 岡 智寿子（国立教育政策研究所）

14:40～15:05 ネパール共和国のCLCにおける災害に関わる学びと日本との交流・支援の可能性

降 旗 信 一（東京農工大学）

（討議 15:05～15:30）

第10室 午前

地域・地域問題

6号館3階311教室

司 会 小 栗 有 子（鹿児島大学）

9:30～9:55 子どもの「自己再構築」を可能とする教育実践に関する一考察

—韓国の都市型代案学校「アルムダウン学校」に着目して—

宋 美 蘭（北海道大学大学院専門研究員）

9:55～10:20 「人工物と人との関わり」としての脱温暖化教育の展開とESD

中 川 恵里子（千葉市青葉看護専門学校非常勤）

10:20～10:45 健康学習運動がもたらした自治の主体の形成

岩 松 真 紀（東京農工大学大学院）

10:45～11:10 親の地域参加を段階的に支える学習支援のあり方

—福岡県飯塚市瀬田公民館の事例より—

相 戸 晴 子（宮崎国際大学）

11:10～11:35 大学の地方貢献型生涯学習体系に関する研究

村 田 和 子（和歌山大学）

（討議 11:35～12:00）

司 会 細 山 俊 男（社会教育・生涯学習研究所）

13:00～13:25 プロボノ活動の教育的意味—法律専門職に注目して

種 村 文 孝（京都大学大学院）

13:25～13:50 仮設商店街設立をめぐる復興活動の地域づくり学習としての意義と可能性
—宮城県気仙沼市南町紫市場をめぐる実践を事例に—

石 山 雄 貴（東京農工大学大学院）

13:50～14:15 生活保護受給有子世帯の子どもの就学・進学に関する現状と課題

—A県における生活保護受給有子世帯に対する2時点聞き取り調査の分析を中心に—

西 村 貴 之（北翔大学）

14:15～14:40 大学教育に求められる実践性・学際性・国際（グローバル）性とはなにか

二ノ宮リムさち（東京農工大学）

14:40～15:05 地方創生総合戦略と社会教育との接続に関する一考察

西 川 一 弘（和歌山大学）

（討議 15:05～15:30）

特別企画

「倫理問題に関する研修会—他学会の実践から学ぶ」

15:45～17:00 6号館1階入口横110教室

司 会 田 中 雅 文（日本女子大学）

講 師 内 田 伸 子（日本教育心理学会）

総 会

17:15～18:30 6号館1階入口横110教室

懇 親 会

18:45～20:45 生協レストラン

プロジェクト研究 <第1室>

「学びあうコミュニティを支えるコーディネーターの力量形成とその組織」

9:30～12:30 6号館4階401教室

テーマ 「実践の展開とコーディネーターとしての力量形成のプロセスを聞きとる」

コーディネーター 村田 晶子（早稲田大学）・内田 光俊（岡山市教育委員会）

報告 東京、大阪、岡山、福井などで力量形成のための研修や講座に参加しつつ地域で長期的実践をすすめている職員のみなさん

内容 地域での長期にわたる実践のとりくみと職員自身の力量形成のプロセスを少人数のグループで聞きとる。

プロジェクト研究 <第2室>

「社会教育研究における方法論の検討」

9:30～12:30 6号館 1階入口横110教室

テーマ 「社会教育研究方法における継承と革新」

司会 松本 大（弘前大学）、添田 祥史（福岡大学）

報告① 「社会教育研究の対象と方法—自らの研究を省みながら—」

上杉 孝實（京都大学名誉教授）

② 「社会教育の概念と実践を架橋する研究方法の模索」

松田 武雄（名古屋大学）

③ 「本プロジェクトの成果と可能性および課題」

安藤 耕己（山形大学）

コメンテーター：藤田 美佳（奈良教育大学）、荻野 亮吾（東京大学）

ラウンドテーブル

13:30～16:00

ラウンドテーブル①

6号館2階213教室

テーマ 「アイヌ民族・先住民族教育の現在（その2）」

司 会 広 瀬 健一郎（鹿児島純心女子大学）

報 告 関 根 健 司（平取町立アイヌ文化博物館学芸員補 アイヌ語講師）

上 野 昌 之（首都大学東京・非常勤）

ラウンドテーブル②

6号館2階212教室

テーマ 「労働の主体性を考える その3」

コーディネーター 野 依 智 子（福岡女子大学）

報 告 廣 森 直 子（青森県立保健大学）、大 高 研 道（聖学院大学）

ラウンドテーブル③

6号館2階211教室

テーマ 「社会教育研究における方法論の課題および今後の展望を語る（その4）」

コーディネーター 松 本 大（弘前大学）

藤 田 美 佳（奈良教育大学）

添 田 祥 史（福岡大学）

吉 田 正 純（京都聖母女学院短期大学）

報 告 上 杉 孝 實（京都大学名誉教授）、松 田 武 雄（名古屋大学）、

安 藤 耕 己（山形大学）

ラウンドテーブル④

6号館2階210教室

テーマ 「子どもに関わるおとなの学び

—『子ども・子育て新制度』本格施行後の地域子育て支援」

コーディネーター 河野 和枝（北星学園大学）

井上 大樹（北海道文教大学）

大坂 祐二（名寄市立大学）

ラウンドテーブル⑤

6号館2階209教室

テーマ 「InterProfessional Educationの課題と可能性」

コーディネーター 渡 邊 洋 子（京都大学）

種 村 文 孝（京都大学大学院）

話題提供者 日 高 有佳子（損害保険ジャパン日本興亜株式会社）

望 月 篤（聖マリアンナ医科大学）

ラウンドテーブル⑥

6号館2階208教室

テーマ 「社会教育における「労働と生活」

—実践における生活と科学との関係性を手がかりに—

コーディネーター 池 谷 美衣子（浜松学院大学）

井 口 啓太郎（国立市公民館）

堀 本 麻由子（東海大学）

報 告 辻 智 子（北海道大学）

富 永 貴 公（東洋大学・非常勤）

コメンテーター 矢 内 琴 江（早稲田大学大学院）

ラウンドテーブル⑦

6号館3階313教室

テーマ 「震災と社会教育—阪神大震災の経験がどう活かされたか」

コーディネーター 千 葉 悦 子（福島大学）

村 田 晶 子（早稲田大学）

報 告 朴 木 佳緒留（神戸大学名誉教授）

手 打 明 敏（筑波大学）

ラウンドテーブル⑧

6号館3階312教室

テーマ 「『社会教育の自由』と『九条俳句』訴訟問題」

コーディネーター 高 橋 満（東北大学）

話題提供者 佐 藤 一 子（東京大学名誉教授）

安 藤 聡 彦（埼玉大学）

